

第3回沖縄鉄軌道市町村会議 議事要旨

1. 開催状況

日 時：平成28年5月23日（月）14：00～16：00

場 所：沖縄県南部合同庁舎 5階 会議室

出席市町村

名護市、国頭村、大宜味村、東村、本部町、恩納村、宜野座村、
金武町、宜野湾市、沖縄市、うるま市、読谷村、嘉手納町、北谷町、
北中城村、中城村、西原町、那覇市、浦添市、糸満市、豊見城市、
南城市、与那原町、八重瀬町
（欠席：今帰仁村、南風原町）

2. 主な議題

- （1）骨格軸のルートについて
- （2）フィーダー交通について
- （3）公共交通システムについて

3. 議事要旨

- （1）事務局より議題に沿って説明を行い、意見交換がなされた。
- （2）市町村会議での主な意見は下記のとおり。

<市町村の主な意見について>

- 豊見城市と糸満市合わせて人口約12万人いる骨格軸として検討していただきたいと考えている。
- フィーダー交通の検討は駅位置が非常に重要となる。駅位置の判断は市町村の意見等も踏まえ判断していただきたい。

<その他（市町村の取組み等）>

- 市町村（豊見城市、那覇市、沖縄市、名護市）においては、移動利便性の向上、渋滞対策、まちづくり等の観点から公共交通網の再編を含めた検討を行っている。
- 公共交通の利用促進に向け、時差出勤等に取り組んでいる。

第3回沖縄鉄軌道市町村会議 << 議事メモ >>

○骨格軸のルートについて

発言者	発言
糸満市	<p>内閣府の資料では骨格軸が糸満市まで線が引かれていたかと思うが、県の提示資料では那覇市—名護市となっており、糸満市を外した理由はなんなのか。</p> <p>⇒沖縄県の総合交通体系基本計画で那覇市—名護市を1時間で結ぶということを掲げており、そのことを踏まえて、まず那覇市—名護市を骨格軸として仮設定している。</p> <p>骨格軸に結節するところは、フィーダー交通として需要予測を実施し、需要が高ければ骨格軸に格上げするという流れを考えている。なお、その検討はステップ4にて実施することとしている。</p>
西原町	<p>那覇市—名護市の67kmを1時間で結ぶことを考えると、概ね100km/hは必要であるだろうと考えられるが、そうなってくると、駅間は15km程度必要であるだろうが、駅位置についてどのように考えているのか。</p> <p>⇒構想段階では概ねの駅位置として駅位置設定の考え方を示していきたい。具体的な駅位置は次の計画段階での検討と考えている。</p>

○各市町村の公共交通の取り組み状況について

発言者	発言
豊見城市	<p>今年度、公共交通の調査等を行う予定である。その中で、まずは現状と課題を把握し、鉄軌道等の県が計画しているものと関連して、市内、あるいは南部の新たな公共交通システムが計画できないかどうかも含めて調査する予定である。</p>
那覇市	<p>交通基本計画の中でモデル性の高い公共交通機関の導入、渋滞対策、まちづくりの観点からシンボリックなLRTの導入についての検討を行っている。</p> <p>昨年から基礎調査等を行っており、今年度を含め2年で検討する。</p>

	<p>また、県も実施しているが、公共交通の利用促進ということで、職員の時差出勤を実施している。</p> <p>そのほか、公共交通の不便な繁多川地域で予約性のタクシーを導入する実証実験を今年実施する予定である。</p>
沖縄市	<p>平成 27 年度に交通基本計画戦略を策定した。その戦略に基づき公共交通網の再編について今年度より基礎調査を実施している。</p>
名護市	<p>平成 27 年 3 月に名護市まち・ひと・しごと創生長期ビジョン、総合戦略を作成しており、その中で中心市街地などを中心とした観光客向けのコミュニティバス等の検討や交通の不便な地域でコミュニティバス、お年寄りの買い物支援等も含めた公共交通の検討を行っていく予定となっている。こちらはまだ事業化はしていないが、今年度もしくは来年度あたりに検討したいと考えている。</p> <p>また、平成 23 年度に自転車の基盤整備調査報告というものを作成しており、その中で自転車ネットワークと自転車優先整備路線を示した整備路線計画に基づいて、基盤整備である自転車レーンの整備に取り組んでいるところである。現在は基盤整備のところしか取り組んでいないが、後々はソフトの方と絡めながら今後検討を進めていきたいと考えている。</p>

○フィーダー交通、公共交通システム、構造等の詳細な検討について

発言者	発言
西原町	<p>フィーダー交通の検討については、骨格軸が決まらないと、どの市町村も検討しづらいものがあるが、どのタイミングで検討を行えばよいか。</p> <p>また、地下鉄といった構造を検討しているのか。もしくは、すでに地下ということで検討を進めているのか。</p> <p>⇒構想段階では、骨格軸と地域をどのように結ぶかといった考え方をまとめたいと考えている。市町村が絡むような詳細な検討については、次の計画段階になるかと考えている。</p> <p>構造については、概略計画という前提はあるが考え方をステップ 4 で示していきたい。それを基に、事業費を算出することを想定している。</p>

浦添市	<p>採算性の結果について公表していくのか。また、そのタイミングはいつを想定しているか。</p> <p>⇒ステップ4の比較評価では、ルートごとに採算性を示していきたいと考えている。</p>
大宜味村	<p>現在、国頭村、大宜味村、東村では赤字路線となったバス路線に対して赤字補てんを行っているが、鉄軌道も路線を維持するため赤字となったら補助金で補てんするという考えはあるのか。</p> <p>⇒原則として、赤字補てんはないということをベースに検討を進めていきたいと考えている。</p>
沖縄市	<p>評価指標については定量的な指標で示すような形にするのか。</p> <p>また、評価を行っていく際に、評価の重みづけ（たとえば人口が多いところ、交通量や混雑度が高いところについては指標が高くなるのか）についてはどのように考えているのか。</p> <p>⇒評価指標について、定量的に評価できるものは定量的に、定性的に評価できるものは定性的に評価していきたいと考えている。</p> <p>また、評価指標の重みづけについては今後のステップ4もしくはステップ5の中で議論していくことになると考えている。</p>

○その他

発言者	発言
西原町	<p>市町村とのコミュニケーションについて各市町村長に対して説明というものがあるのか。</p> <p>⇒この会議を通じて市町村のみなさまには、情報提供させていただいている。</p> <p>各市町村の首長への報告については本会議の出席者が各自持ち帰ったうえで報告していただきたいと考えている。</p>